SANITA

トイレ収納ボックス

取扱説明書

必ずお読みください

N/NK/N 南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業 首都圏 第1・2チーム TEL(087)825-3621 FAX(087)825-3645 北海道・東北営業チーム TEL(087)825-3632 FAX(087)825-3695 東日本党業 TEL(087)806-3660 TEL(087)825-3622 FAX(087)825-3645 FAX(087)825-3646 関東甲信越営業チーム グルーフ

TEL(087)825-3623 TEL(087)825-3624 FAX(087)825-3647 FAX(087)825-3648 西日本営業 近畿営業チーム 中四国営業チーム グルーフ 九州営業チーム TEL(087)825-3625 FAX(087)825-3649

特需営業 特需 第1・2チーム TEL(087)825-3662 FAX(087)825-3669

- ■ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。 間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書にそわず取り扱いを行なった場合については、 当社での保証はしかねますのでご注意ください。
- ■お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をして います。内容をご理解の上、正しく安全にお使いください。

中部営業チーム

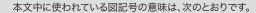
誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、説明しています。



この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと 使用者などが傷害(※1)を負うことが想定され るか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・ 損害の程度を示す。

(※1)傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ、 やけど、感電などをさす

(※2)物的傷害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。





「してはいけない」を示します。



「必ず行なっていただくこと」を示します。



● 製品にのったり、ぶら下がったりしない。

扉や棚板、パイプにのったり、ぶら下がったり しないでください。破損・落下してケガをする おそれがあります。





手をはさんでケガをするおそれがあります。 特に小さなお子様には充分ご注意ください。



▶ 扉の開閉は静かに行なう。

扉の開閉は静かに行なってください。 扉が破損・落下し、ケガをするおそれがあります。





耐荷重の目安値よりも重いものをのせ ない。

重量物をのせると、棚板やパイプが変形・破損・ 落下し、ケガをするおそれがあります。 (裏面「耐荷重の目安値」をご参照ください。)

ご使用上のお願い



● 粘着テープ(養生テープ・セロハン テープ・シール等)は貼らない。

製品に粘着テープ(養生テープ・セロハン テープ・シール等)を貼らないでください。 表面化粧がはがれるおそれがあります。



▶ 製品に直接水をかけない。

製品に直接水をかけないでください。表面 化粧のはがれや反りの原因となります。



● 暖房器具などを近づけない。

暖房器具などから発生する熱風・熱気が直 接当たらないようにしてください。 反り・割れ・変色の原因になります。

お手入れ



● 日常のお手入れ方法

乾いた柔らかい布で乾拭きします。

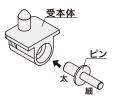
● 汚れがひどい場合

中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ま せ堅く絞って拭き取り、よく乾燥させます。

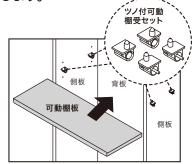
可動棚板の取り付け・取り外し

可動棚板は取り外し可能です。取り付ける際はツノ付可動棚受セットの受本体にピンを差し込み、ボックスのダボ穴に取り付けます。棚受のツノ部分に可動棚板の穴をはめ込むように設置します。また、取り外す際は可動棚板を外し、ツノ付可動棚受セットを取り外します。

ツノ付可動棚受セット

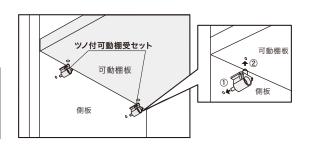


※受本体のツノから遠い方の 穴にピンの太い側を差し込み ます。

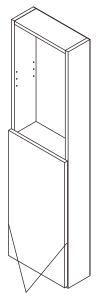


ご注意

使用するダボ穴 の位置が同じ高 さになるように ご確認ください。



扉の調整方法



左右のちりを均等にする。

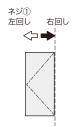
ご注意

扉の調整後必ず2~3回開閉し、扉が確実についていることをご確認ください。

扉の左右の 位置を調節

① のネジを左右に回して扉の 左右の位置を調整してください。

吊元	ネジ①	屝
左側	右回し ➡	右 に動く
	左回し�	左 に動く
右側	右回し ➡	左 に動く
	左回し口	右 に動く



※吊元:右側の場合は 左表を参照ください。

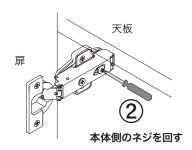


扉側のネジを回す

扉とボックスの 隙間を調節

②のネジをゆるめ扉を前後に 動かして調節し、適正な位置で 締め直して固定してください。

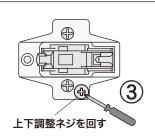




扉の上下を調節

座金にある③のネジをゆるめ 扉を上下に動かして調節し適正 な位置で締め直して固定してく ださい。





耐荷重の目安値

下記は耐荷重の目安値であり保証値ではありません。

本体	全体の耐荷重の目安値
Sタイプ	15kg
Mタイプ	20kg
Lタイプ	30kg

パーツ	耐荷重の目安値
可動棚板・固定棚板	5kg